

一般社団法人国際法協会日本支部 2019年度事業報告書

住所 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学法学部研究室内
代表理事 柳井 俊二

当法人の2019年度終了に伴い、以下の通りご報告申し上げます。

1. 会員総会

定時会員総会を2019年4月27日13時45分ー14時15分に東京大学法学部22番教室において行った。議事の詳細は資料Aを参照。

2. 理事会

第1回理事会を2019年4月27日12時20分ー13時30分に東京大学法学部21番教室において行った。議事の詳細は資料Bを参照。

第2回理事会を2019年12月15日13時ー15時にアルカディア市ヶ谷白根の間において行った。議事の詳細は資料Cを参照。

3. 事業活動その1 研究活動

国内大会を2019年4月27日11時ー17時40分に東京大学法学部22番教室において行った。大会の詳細は次の通り。

共通テーマ「日本における国際法学の誕生」

午前の部 座長：植木俊哉（東北大学教授）

「日本の国際法学—法の「継受」と「受容」の視点から」 明石欽司（九州大学教授）

午後の部 座長：柳原正治（放送大学教授）

「高橋作衛—日本における戦時国際法の発展への貢献」 森川幸一（専修大学教授）

「大戦間期の戦争違法化と安達峰一郎」 三牧聖子（高崎経済大学准教授）

「国際私法と主権」 櫻田嘉章（甲南大学教授）

4. 事業活動その2 出版活動

英文国際法年鑑(Japanese Yearbook of International Law) 第62巻の出版を行った。同巻は2020年3月に刊行された。同巻の目次は資料Eを参照（同巻は各会員に郵送済）。

資料 A

一般社団法人国際法協会日本支部 2019年度定時会員総会議事録

日時：2019年4月27日（土）13時45分～14時15分

場所：東京大学（本郷キャンパス）法学部22番教室

会員総数：326名

出席者及び委任状提出者の総数：173名

出席理事（22名）：畑場準一、奥脇直也、小和田恒、兼原敦子、熊倉禎男、酒井啓亘、坂元茂樹、櫻田嘉章、寺谷広司、道垣内正人、鳥居淳子、中谷和弘、廣部和也、古谷修一、松井芳郎、三上正裕、森肇志、森川幸一、薬師寺公夫、柳井俊二、柳原正治、山内惟介

出席監事（2名）：折田正樹、川村明

柳井俊二代表理事が議長席につき、出席者及び委任状提出者の総数が173名ゆえ、定足数を満たし本総会は有効に成立した旨を宣言し、議事に入った。

審議事項1：2018年度事業報告及びその附属明細書、同年度決算案（貸借対照表及び正味財産増減計算書を含む）及びその附属明細書、並びに同年度公益目的の支出計画実施報告書の承認の件

各担当理事より、2018年度事業報告及びその附属明細書、並びに同年度決算案（貸借対照表及び正味財産増減計算書を含む）及びその附属明細書について説明がなされ、全員一致、これを承認した。あわせて、庶務担当業務執行理事より、2018年度公益目的の支出計画実施報告書について説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項2：2019年度事業計画及び同年度予算案の件

各担当理事より、2019年度事業計画及び同年度予算案について説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項3：新入会員及び特別会員の承認の件

庶務担当業務執行理事より、理事会としては、維持会員として1名（蒲野綜合法律事務所）、通常会員として6名（村上正子・名古屋大学教授、岩本学・富山大学准教授、中井愛子・京都大学特定助教、三牧聖子・高崎経済大学准教授、夏堀典和・外務省社会条約官室課長補佐、錦織有史・外務省北東アジア第1課課長補佐）を会員総会に新入会員として推薦し、会員総会の承認を頂きたい旨の説明がなされ、全員一致、これを承認した。また、庶務担当業務執行理事より、理事会としては、特別会員として、松浦博司氏にかえて岡野正敬氏を推薦し、会員総会の承認を頂きたい旨の説明がなされ、全員一致、これを承認した。これにより、会員数は33

3名（通常会員315名、特別会員6名、維持会員12名）となる。

審議事項4：理事の選任の件

代表理事から、理事会の体制を強化するため、植木俊哉会員及び鈴木正貢会員を理事に追加的に選任して頂きたい旨の説明がなされ、全員一致、これを承認した。出席した被選任者は、席上、その就任を承諾した。なお、被選任者の理事の任期は、他の理事と同じく、2020年の総会終了時までであることが確認された。

審議事項5：世界大会の日本開催の件

庶務担当業務執行理事及び酒井理事（大会実行委員会幹事）より、2020年8月に京都で開催予定の世界大会に向けての準備のあり方について説明がなされ、全員一致、これを承認した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議事録署名人として選出された、柳井俊二（代表理事・議長）、奥脇直也（副代表理事）、熊倉禎男（業務執行理事）は、次に記名押印する。

2019年5月7日

一般社団法人国際法協会日本支部

代表理事（議長） 柳井俊二

副代表理事 奥脇直也

業務執行理事 熊倉禎男

議事録作成者 業務執行理事 中谷和弘

資料 B

一般社団法人国際法協会日本支部 2019年度第1回理事会議事録

日時：2019年4月27日（土）12時20分—13時30分

場所：東京大学（本郷キャンパス）法学部21番教室

理事総数：24名

出席者 理事（22名）：畑場準一、奥脇直也、小和田恒、兼原敦子、熊倉禎男、酒井啓亘、坂元茂樹、櫻田嘉章、寺谷広司、道垣内正人、鳥居淳子、中谷和弘、廣部和也、古谷修一、松井芳郎、三上正裕、森肇志、森川幸一、薬師寺公夫、柳井俊二、柳原正治、山内惟介

監事（2名）：折田正樹、川村明

欠席者 理事：浅田正彦、岩澤雄司

オブザーバー：植木俊哉、鈴木正貢

柳井俊二代表理事が議長席につき、出席理事が上記22名ゆえ、定足数を満たし本理事会は有効に成立した旨を宣言し、議事に入った。

報告事項：代表理事、業務執行理事、編集担当理事、研究企画担当理事から自己の職務の執行の状況について報告がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項1：2018年度事業報告及びその附属明細書、同年度決算案（貸借対照表及び正味財産増減計算書を含む）及びその附属明細書、並びに同年度公益目的支出計画実施報告書の承認の件

各担当理事から、2018年度事業報告及びその附属明細書、並びに同年度決算案（貸借対照表及び正味財産増減計算書を含む）及びその附属明細書について説明がなされ、全員一致、これを承認した。あわせて、庶務担当業務執行理事より、2018年度公益目的支出計画実施報告書について説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項2：2019年度事業計画及び同年度予算案の件

各担当理事より、2019年度事業計画及び同年度予算案について説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項3：新入会員及び特別会員の件

庶務担当業務執行理事より、維持会員につき1名（蒲野綜合法律事務所）、通常会員につき2名（夏堀典和・外務省社会条約官室課長補佐、錦織有史・外務省北東アジア第1課課長補佐）の入会を、前回の理事会で承認した会員候補者とあわせて会員総会に推薦したい旨の説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項4：新理事の件

代表理事より、理事会の体制を強化するため、植木俊哉、鈴木正貢の2名を追加的に理事候補者として会員総会に推薦したい旨の説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項5：世界大会の日本開催の件

庶務担当常務執行理事及び酒井理事（大会実行委員会幹事）より、2020年8月に京都で開催予定の世界大会に向けての準備のあり方について説明がなされ、全員一致、これを承認した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、柳井俊二（代表理事・議長）、折田正樹（監事）、川村明（監事）は、次に記名押印する。

2019年5月7日

一般社団法人国際法協会日本支部

代表理事（議長） 柳井俊二

監事 折田正樹

監事 川村明

議事録作成者 業務執行理事 中谷和弘

資料 C

一般社団法人国際法協会日本支部 2019年度第2回理事会議事録

日時：2019年12月15日（日）13時～15時

場所：アルカディア市ヶ谷（私学会館）白根の間

理事総数：23名

出席者

理事（20名）：浅田正彦、植木俊哉、小和田恒、奥脇直也、兼原敦子、熊倉禎男、酒井啓亘、坂元茂樹、櫻田嘉章、鈴木正貢、寺谷広司、道垣内正人、中谷和弘、廣部和也、古谷修一、松井芳郎、森肇志、森川幸一、薬師寺公夫、柳井俊二

監事（2名）：折田正樹、川村明

オブザーバー：岡野正敬

欠席者：

理事（6名）：畑場準一、岩沢雄司、鳥居淳子、三上正裕、柳原正治、山内惟介

柳井俊二代表理事が議長席につき、出席理事が上記20名ゆえ、定足数を満たし本理事会は有効に成立した旨を宣言し、議事に入った。

報告事項：代表理事、業務執行理事、各主任による報告

代表理事、業務執行理事、各主任（庶務、会計、編集の各担当理事及び研究企画担当理事にかわり兼原理事）から自己の職務の執行の状況について報告がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項1：2019年度事業報告及び同年度予算執行状況の件

各担当理事より、2019年事業報告及び同年度予算執行について説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項2：新入会員及び特別会員に関する件

庶務担当理事より、通常会員5名（荒島千鶴・神戸学院大学法学部准教授、西片聡哉・京都先端科学大学経済経営学部教授、瀬岡直・近畿大学国際学部准教授、松田浩道・国際基督教大学教養学部助教、澤田眞治・防衛大学校総合教育学群教授）の入会及び特別会員3名の交代（三上正裕氏にかわり岡野正敬氏、岡野正敬氏にかわり御巫智洋氏、片平聡氏にかわり大塚建吾氏）を来年4月の会員総会に推薦したい旨の説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項3：2020年世界大会の件

庶務担当理事、浅田理事及び寺谷理事より、2020年8月23日~27日に京都国際会館で開催する第79回世界大会の準備状況に関連して説明がなされた。財務面を含む今後の取り組みの方針について、全員一致、これを承認した。

審議事項4：その他

特になし。

以上、この議事録が正確であることを証するため、柳井俊二（代表理事・議長）、折田正樹（監事）、川村明（監事）は、次に記名押印する。

2019年12月17日

一般社団法人国際法協会日本支部

代表理事（議長） 柳井俊二

監事 折田正樹

監事 川村明

議事録作成者 理事・庶務主任 中谷和弘

Volume 62 (2019)

CONTENTS

ARTICLES

CULTURE AND INTERNATIONAL LAW: A COMPREHENSIVE ANALYSIS

Introductory Note	<i>Maki Nisbiumi</i>	1
Destruction of Cultural Heritage and Recovery: The World Heritage, Authenticity, and "Process-Thinking"	<i>Toshiyuki Kono</i>	6
The Relationship Between Culture and Development in International Law	<i>Véronique Guèremont</i>	24
Cultural Rights in International Human Rights Law: From Controversy to Celebration	<i>Yvonne Donders</i>	61
Language and International Law: How Does International Law Protect Languages and Linguistic Rights?	<i>Jacqueline Mowbray</i>	85

NEW LEGISLATION ON THE INTERNATIONAL JURISDICTION OF JAPANESE COURTS ON PERSONAL STATUS LITIGATIONS AND DOMESTIC RELATIONS CASES

Introductory Note	<i>Aki Kitazawa</i>	118
New International Civil Procedure Law of Japan in Status and Family Matters	<i>Yuko Nishitani</i>	119
International Adjudicatory Jurisdiction in Matrimonial Matters in Japan	<i>Yuko Nishitani</i>	151
International Jurisdiction of Child-Related Cases in Japan	<i>Masako Murakami</i>	189
International Jurisdiction in Case Related to Succession: New Rules in Japan	<i>Takami Hayashi</i>	209
Recognition and Enforcement of Foreign Decisions on Personal Status Litigation and Family Relations Cases	<i>Manabu Iwamoto</i>	226

CUSTOMARY INTERNATIONAL LAW IN THEORY AND PRACTICE

How to Identify Customary International Law? — On the Outcome of the Work of the International Law Commission (2018) — Georg Nolte 251

ICJ Practice in Determining the Existence of Customary International Law Tatsuya Abe 274

Inconvenient Truths About the Identification of Customary International Law in International Criminal Law Hitomi Takemura 312

PUBLIC INTERNATIONAL LAW

How Deep is Your Love: Intercrossing of Inner and Outer Continental Shelf Entitlements Bjørn Kunoy 335

JAPANESE DIGEST OF INTERNATIONAL LAW

Japan's Withdrawal from the International Convention for the Regulation of Whaling Atsuko Kanebara 376

Objects and Purpose of the International Convention for the Regulation of Whaling — The International Whaling Commission — Article 65 of the United Nations Convention on the Law of the Sea — Sustainable Use of Whale Resources — Japan's Consumption of Whale Meat — Japanese Industry of Commercial Whaling — Whale-Related Culture

BOOK REVIEWS

Ekkuyobanzai no Kokusaitteki Kisei [The International Regulation of Transnational Crimes], by Yurika Ishii. Tokyo: Yuhikaku, 2017. Mitsue Inazumi 388

Kokusaibo jissen Ronsbu [Articles on Practical Theory of International Law], by Ichiro Komatsu, edited by Tomohiro Mikanagi. Tokyo: Shinzansha, 2015. Kimio Yakushiji 391

Japanischer Vorkämpfer für die Rechtsordnung des 21. Jahrhunderts: Festschrift für Koresuke Yamauchi zum 70. Geburtstag [Japanese Pioneer of the Legal System of the 21st Century: Festschrift for Koresuke Yamauchi's 70th Birthday], edited by Heinrich Menkhau and Midori Narazaki. Berlin: Duncker & Humblot, 2017. Anna Katharina Suzuki-Klasen 397

Treatment of Foreign Law — Dynamics towards Convergence?, edited by Yuko Nishitani. Switzerland: Springer, 2017. Shibo Kato 401

Kokusaitteki Minjifunso to Kari no Kenri Hogo [Provisional or Protective Measures in International Civil and Commercial Disputes], by Hidetoshi Nomura. Tokyo: Sinzansha, 2017. Asako Matoba 404

Kokusaiseikinjin no Rikou ni okeru Baisho no Kenkyu [Study on Reparation in the Implementation of International Responsibility], by Masahito Omori. Tokyo: Hogaku-kenkyu-kai, Keio University, 2018. Tomoyuki Yuyama 408

Senju-minzoku to Kokusai-bo [Indigenous Peoples and International Law], by Yuko Osakada. Tokyo: Shinzansha, 2017. Yozo Yokota 411

Jinkenjouyaku no Kaisyaku to Tekiyoku [Interpretation and Application of Human Rights Treaties], by Shigeki Sakamoto. Tokyo: Shinzansha, 2017. Kobki Abe 415

Kokusai Fuhokoibo no Kenkyu [Torts in Private International Law], by Yusuke Tanemura. Tokyo: Seibundo, 2017. Miho Sbin 418

Kokusaisaikenkeiyaku to Kaibijoukou [International Contract of Obligation and Escape Clause], by Risa Terai. Tokyo: Shinzansha, 2017. ... Kiyotaka Fukui 421

JUDICIAL DECISIONS IN JAPAN 425

I. Public International Law

Tokyo High Court, Judgment, December 14, 2017 426

Compensation for War Injuries — Individuals' Right to Seek Compensation under Additional Protocol I to the Geneva Conventions in 1977 — Individuals' Right to Seek Compensation under Customary International Law

Nagoya High Court, Judgment, April 11, 2018 433

Immigration Control and Refugee Recognition Act — Enforced Deportation — Circumstances to Be Taken into Account — De Facto Marriage with a Nikkei Nisei (Second Generation of Japanese Emigrant)

Tokyo District Court, Judgment, February 28, 2018 440

Dispute over an Employment Contract — Immunity from the Civil Jurisdiction of Diplomatic Agent — Article 31(1)(c) of the Vienna Convention on Diplomatic Relations

Tokyo District Court, Judgment, March 20, 2018 443

Application for Reconsideration of Refugee Status by Persons Who Have Already Left Japan — Definition of Refugees — Burden of Proof — Situation in Syria

Tokyo District Court, Judgment, July 5, 2018 447

The Cessation Clause — Article 1-C(5) of the Refugee Convention — Burden of Proof — Situation in Sri Lanka

II. Private International Law	
Supreme Court (1st Petty Bench), Judgment, March 15, 2018	452
<i>International Child Abduction — Habeas Corpus Relief</i>	
Tokyo High Court, Judgment, June 29, 2017	455
<i>Jurisdiction over the Claim Based on Non-performance of Carriage Contract — Piercing the Corporate Veil</i>	
Tokyo High Court, Decision, June 30, 2017	458
<i>Order of Seizure — Applicable Law of Statutory Lien</i>	
Tokyo High Court, Decision, August 1, 2018	462
<i>Setting aside of Arbitral Award — Procedural Public Policy</i>	
Tokyo District Court, Decision, June 12, 2018	468
<i>Applicable Law of the Claim Arising from a Tort of Defamation — Disclosure of Identification Information of the Sender — Word of Mouth on the Website</i>	
CHRONOLOGY OF JAPANESE FOREIGN AFFAIRS IN 2018	472
CHRONOLOGICAL LIST OF TREATIES AND OTHER INTERNATIONAL AGREEMENTS CONCLUDED BY JAPAN IN 2018	482
DOCUMENT	
National Legislation	
Act for the Partial Revision of the Personal Status Litigation Act, Etc. (Act No. 20 of April 25, 2018)	486
ACTIVITIES	
I. Activities of the International Law Association of Japan	496
II. Activities of Related Academic Associations in Japan	503
1. Kokusaiho Gakkai (Japanese Society of International Law, established in 1897)	503

2. Kokusai Shiho Gakkai (Private International Law Association of Japan, established in 1949)	509
3. Sekaiho Gakkai (Japanese Association of World Law, established in 1965)	515
INSTRUCTIONS FOR SUBMISSIONS TO THE JYIL	517